

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
小児看護学方法論Ⅰ	1年次 後期	必修	講義	1単位（15時間）	鈴木 博 ※
授 業 概 要					
子どもの主な疾患の病態生理や症状・検査・治療について学び、健康障害のある子どもと家族への看護が理解できるようになる。					
到 達 目 標					
1. 子どもの主な疾患の病態生理・症状・検査・治療を述べる。					
回	学 習 内 容				担当教員
1-3	1. 子どもの主な疾患 1) 染色体異常・先天異常(トリソミー、クラインフェルター症候群、ターナー症候群) 2) 新生児・低出生体重児の疾患(新生児黄疸、呼吸窮迫症候群) 3) 代謝性・内分泌疾患(新生児マス・スクリーニング、1型糖尿病) 4) 血液・造血器疾患(紫斑病・血友病) 5) 悪性新生物(急性リンパ性白血病) 6) 神経・筋疾患(熱性けいれん、てんかん、脳性麻痺) 7) 循環器疾患(ファロー四徴症、心室中隔欠損症、川崎病)				鈴木 博 ※ 外部講師
4-7	8) 消化器疾患(口唇・口蓋裂、幽門狭窄症、腸重積症、胆道閉鎖症、鎖肛、ヒルシュスプリング病、急性胃腸炎) 9) 腎・泌尿器疾患(ネフローゼ症候群、急性糸球体腎炎) 10) 免疫疾患・アレルギー性疾患・リウマチ性疾患(食物アレルギー、気管支喘息) 11) 感染症(麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、髄膜炎) 12) 呼吸器疾患(肺炎、クループ症候群、細気管支炎)				大谷 尚也 ※
学 習 方 法					
子ども主な疾患について講義を行うので、復習をし、疾患の理解を深める。					
評 価 方 法					
〔評価方法〕 科目修了試験					
先 修 科 目					
なし					
教 科 書、参 考 書					
〔教科書〕 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学〔2〕 小児臨床看護各論 奈良間美保 他 医学書院					